

# 見積書一覧

トップ 見積書の作成 見積書一覧 管理

検索文字:  検索: 表示 クリア --見積先の選択-- --ステータスの選択-- 登録日:  ~

見積No:  昇順  降順 作成順:  昇順  降順 抽出件数:  10件  30件  50件

総数: 1件

複製作成	見積書No. - 作成番号	再作成	出力	見積先	件名	連絡先等	登録日	ステータス
<input type="checkbox"/>	No.000092 - 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	株式会社サンプル	■パソコンの御見積書です。		2014/06/10	未成

「出力」  
保存されている見積書をPDFとしてダウンロードできます

「再作成」  
見積書の内容はそのままに見積書No,の枝番が1つ増えて本日の日付で見積書の入力画面が表示されます。  
同じ内容で金額のみ変更になったり商品個数の変更、或いは商品の増減など最初の見積内容から制約までの進捗を履歴として残したい場合に使えます。

「見積書No, 作成番号」  
右端の-1の部分が枝番として機能します  
再作成を実行すると次は\*\*\*\*-2となります。

「複製作成」  
この見積書の内容はそのままに、新に見積書No,が振られます  
日付は本日内容そのままに新規作成モードになります。  
販売品目によっては内容が一律で取引先のみ書き換えることが頻発しているため本機能を搭載しました。  
取引先の変更と必要があれば商品個数のみ変更して即見積書の発行が可能です。

# 見積書の入力方法

オプション・諸設定を行う

未成
  成約
 連絡先等:

見積先1 株式会社サンプル 御中

見積先2   
 見積先3

納期 1週間  
 取引方法 現金  
 有効期限 30日間  
 件名 ■パソコンの御見積書です。

見積書No No.000092 - 1

日付 2014年 6月 10日  
 担当者

御 見 積 書

No	商品名等	内 容	数量	単 価	金 額	削除	挿入	代	
1	Max pro	最新最強のMax	1	式	398,000	398,000	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="挿入"/>	<input type="radio"/>
2			0		0	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="挿入"/>	<input checked="" type="radio"/>	
3			0		0	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="挿入"/>	<input type="radio"/>	

見積先は、こんな感じで3段使うこともできます  
 ただし、現状は弊社で使ってるフォームでサンプルサイトを構成しているため  
 3段とも使うとフォーム上の文字と被ります。(印刷プレビュー等でご確認ください。)

見積先1	株式会社サンプル	敬称なし
見積先2	広島支店	
見積先3	サンプル 太郎 様	

## 「削除と挿入」

その行について、行の削除または挿入ができます。  
 既に入力している行の場合について、削除をするとう入力していた内容と共に行が削除されます  
 挿入をクリックした場合はその行は入力内容を維持したまま1行下がり空白行が挿入されます。  
 どの場合も、ページとしては20行(40行2ページ構成のフォームでは40行)を維持したまま  
 行の削除または挿入となります。

## 「代」代入の意味です

マスターに事前登録しておけば、そこから代入可能です。  
 代入したいと思う行の「代」の部分をクリックし選択すると黒丸が入りますので  
 マスターリストの「代」をクリックすると見積書側に登録しておいた内容が反映されます。

上のボタンを押すと各データの一覧を表示します。  
 アイコンのクリック、又は、代入ボタンを押すと  
 画面左側の該当入力欄にデータを代入します。

マスターデータは見積書の右上側に操作ボタンを  
 用意していますので必要に応じてお使い頂ければ良いと思います。

例として「商品」をクリックし登録している商品情報の中から(配線等工事費)について  
 商品リストの左端にある「代」をクリックすると、見積書の「代」を選択した行に商品情報が  
 代入されます。

No	商品名等	内 容	数量	単 価	金 額	削除	挿入	代	
1	Max pro	最新最強のMax	1	式	398,000	398,000	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="挿入"/>	<input type="radio"/>
	■配線等工事費		1		15,000	15,000	<input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="挿入"/>	<input checked="" type="radio"/>

ここを先に選択して

次にマスターのここをクリックする。

すると、見積にマスターの情報が代入されます。

商品一覧 4件

商品名等内 容:

<<前 1 2 次>>

チェックボックスのON/OFF
  チェックの入ったデータを削除

代	商品名等	内 容	数量	単 価
<input checked="" type="radio"/>	■配線等工事費		1	¥ 15,000
<input type="radio"/>	■高速スイッチングHUB		1	¥ 7,500
<input type="radio"/>	■配線材料費	LANケーブル	1メートル	¥ 120
<input type="radio"/>	■デスクトップパソコン		1台	¥ 150,000

## ※ポイント

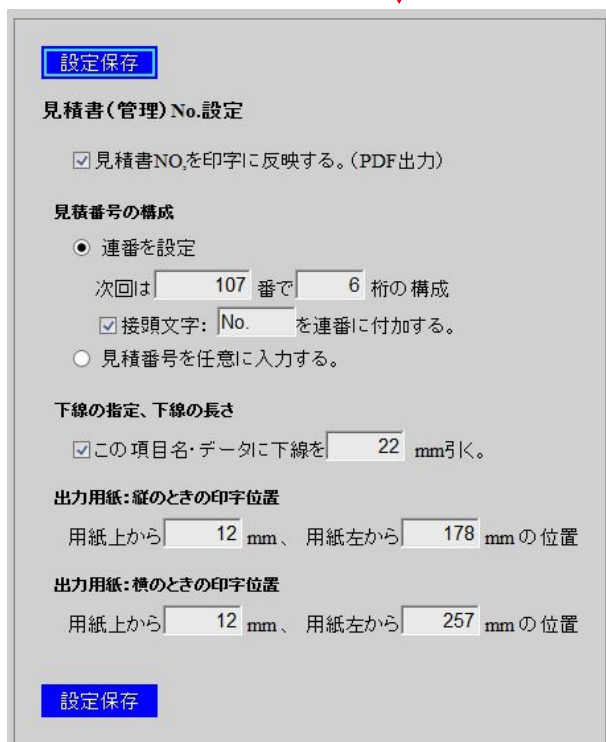
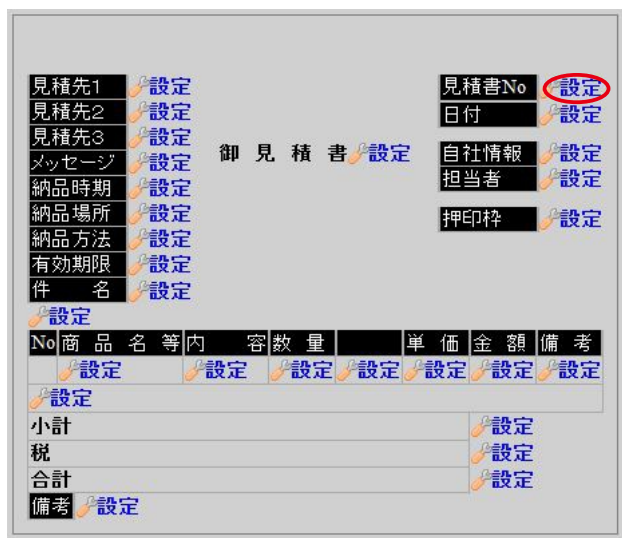
マスターを使わなくても直接入力しても良いと思います  
 その他、取引先、見積担当などはマスターに登録すると代入が可能です。

# マスターメニューの「設定」について



この「設定」をクリックするとこんな画面が出てきます

なにやら設定って文字がたくさんあってややこしい感じがします  
試しに「見積書NO」の設定をクリックしてみましょう。  
すると右側にこんなのが表示されます。



「見積書（管理）No.設定」の設定が可能です  
簡単に言えば番号を印字するかしないか  
印字するならどんな番号付けとするのか  
下線を入れるとか印字位置はどこなのってことを設定できます。

こんな感じで他の「設定」についても必要があれば設定を行えば  
それなりに必要な形に近づくのではないかと考えています。

各社各様に見積りフォームが存在すると思います。  
しかし、頻繁にフォームを替えることは無いと思いますので、ここの設定については一度設定したら  
通常は操作する事はないだろうと思っています。  
それでも、弊社としては汎用性を高めるためにも、この機能を搭載してみました。

全体として見れば足りない部分はたくさんあると思いますが  
目標としていた、Excelでやっている操作に近づけた機能に仕上がったと思っています。

無いとすれば文字サイズだとか色づけとか  
でも、見積書は一般的に地味な書き方をしますから、補足的に何かしら説明なり  
強調したアピールが必要なら見積書+別にプレゼン資料を用意すれば良いと思います。